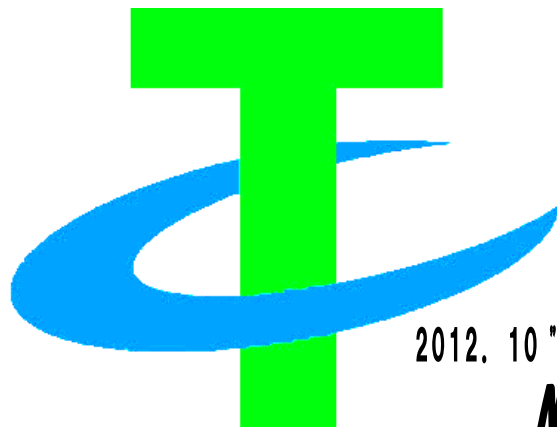


TOKACHI INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWSLETTER



2012. 10 "October"
No.25

十勝インターナショナル協会

国際交流活動支援金

十勝インターナショナル協会では、会員のみなさんが企画する国際交流事業（受入・派遣事業など）を資金面で支援させていただいています。国際交流に関する事業とはイベント、講演会、また外国語併記の印刷物作成など、様々です。なお、これら支援金は旅費、謝礼金、会場使用料、印刷製本費、消耗品費など経費の一部としてご利用下さい（飲食にかかる経費は対象外です。）申請の際は是非一度事務局までご連絡下さい。

芽室町：ブラジルゲートボール連合 親善交流協力提携 締結事業

ゲートボール発祥の地芽室町とブラジルゲートボール連合が親善交流協力提携を締結するため、芽室町長をはじめ8名がブラジルゲートボール連合創立30周年記念大会に併せてブラジルを訪問しました。

事業実施期間：平成24年6月27日から平成24年7月6日まで



鹿追町：カナダ・ストニブレイン町交換留学生・友好訪問団受入事業

鹿追町では姉妹提携都市のカナダ・ストニブレイン町の友好訪問団を7月に受け入れました。訪問団の方々は町内外の各家庭にホームステイをしながら十勝の生活に触れ、視察や日本文化体験を通じて日本の文化への理解を深めました。事業実施期間：平成24年6月13日から平成24年7月18日まで

国際交流に関する講演会やイベント等にも活用できるとのことなので、海外の自治体と姉妹提携を行っていない自治体にも活用しやすいと思います。

—鹿追町—



2012年度 JICA 青年研修

『中央アジア・コーカサス混成 農村振興コース』 始まります!!

当協会が毎年受託しているJICA青年研修とは、開発途上国の20歳から35歳までの青年に対し、18日間にわたって日本で研修を行うものです。本コースは原生林だった十勝が、食料供給基地としての存在意義を確立するまでの過程を学んでもらい、各国の農村振興に役立ててもらおうことを目的としています。

今年は、キルギス・タジキスタン・トルクメニスタンの研修員が十勝を訪れます。

十勝の生産者、農協、行政機関による講義・視察で、たくさんの学びを得てもらおうと同時に、十勝の美しい景色やおいしい食べ物、魅力的な文化も紹介し、十勝を大好きになってもらいたいと思います。

研修期間(予定)：平成24年11月12日～29日



外国文化にふれてみませんか!!

十勝インターナショナル協会では、各町村地域の皆様からいただく、国際色豊かなイベント(料理教室や外国人による自国の紹介など)の要望に合わせた、

十勝在住外国人を紹介・派遣します。

<平成23年度>

「リゾートアイランド フィリピン」平成23年9月22日 広尾町

「本別町きらめき講座」平成23年9月28日 本別町

「世界の料理教室(台湾)」平成23年10月1日 幕別町

「国際交流会」平成23年10月20日 足寄町

「世界の料理教室(フィリピン)」平成23年11月9日 幕別町

「韓国料理教室」平成23年12月13日 士幌町

国籍など、希望がありましたら、まずはご相談下さい!!今年はこちらから広尾町と足寄町でのイベントを予定しております!皆様からのご連絡、お待ちしております!!

高校生フェスタ 2012 2012.8.10 FRI

高校生達が、言葉の壁を越え、盛り上がりました!!



平成24年8月10日(金)森の交流館・十勝で、十勝管内高校生32名、外国人15名、計47名が参加し、全員英語のみのルールのもと、交流を深めました。外国人参加者は、留学生(帯広畜産大学生、A F S高校生)のほか、帯広市の国際姉妹・友好都市相互派遣プログラムで来帯した米国スワード市と中国朝陽市の人も参加。当日は多田会長挨拶の後、留学生からは自国紹介を、高校生からは十勝の紹介などを行いました。確かに言葉の壁はありましたが、国際交流によって相互理解や思いやりのあるコミュニケーションは育まれると強く感じました。

世界のともだち 2012 2012.7.8 SUN



来場者との

アフリカンドラム
ファイナルでした!!

平成24年7月8日(日)、森の交流館・十勝&JICAで「世界のともだち2012」が開催されました。当日は2,000人を超える来場者が集い、畜大留学生が出展した屋台や、パフォーマンスなどで多国籍交流をしながら楽しみました。当日はJICA研修員のみならずも色々なゲームに参加し、地元住民とのふれあいの場になっていました。また、当日の様子はFM-JAGAで生放送されました。

毎週土曜日 11:30~
77.8Mhz でオンエア中!!



JICA研修員を毎回ゲストに加えて十勝帯広での暮らしについてお話しします。ぜひ一度耳を傾けて下さい!!

HOME VISIT PROGRAM

ホームビジットプログラム

北海道国際センター（帯広）に宿泊しているJICA研修員の方々を日帰りでご受け入れていただく事業です。とち国際交流ボランティアに登録のホームビジット受入希望者を対象にホストファミリーの募集を行います。皆様の協力のもと、JICA研修員の方々に日本の文化・習慣などを肌で感じていただけたら、国籍は違えど、共通するものが見えてくるかもしれません。ぜひみなさんも経験してみませんか？登録は事務局まで。

今回は6月に「持続的農業生産と環境保全のための土壌診断技術コース」で来帯した研修員を受け入れて頂いた芽室町の中島緑郎様のレポートをお届けします。全文は今後ウェブで紹介いたします。

K l a w a , M u l i b w a n j i !

～マラウィのチソモさんを招いて～ 中島 緑郎（芽室町）



ホームビジットで我が家に来てくれることになったのは、アフリカのマラウィ共和国から来たチソモさんでした。実は私たち家族は今年の3月まで南アフリカ共和国で暮らしており、ヨハネスブルグの自宅近くにあったガソリンスタンドで、マラウィから出稼ぎに来ていた従業員さんたちにとっても仲良くしてもらっていました。題名にあるK l a w aはマラウィ語(チチェワ)で“こんにちは”、M u l i b w a n j iは“ごきげんいかが”という意味ですが、これもそのガソリンスタンドで教えてもらったのでした。私たちにとって、アフリカで暮らした3年間は本当に素晴らしい体験の連続で、そのほとんどにアフリカの人々の明るさや心の広さ、温かさが関わっていました。ですから、ホームビジットでマラウィの方をお世話できると聞いて、とても嬉しく思いました。少しでもアフリカの人々に恩返しを願っていました。

当日、まずは然別湖までドライブに行きました。残雪を望む山間の小さな湖は、北海道らしい風景として思い出に残してくれると思ったからです。途中、鹿追の町でおそばに挑戦してもらいましたが、いざ食べようとすると“はしは初めて。”お店の方にフォークをお願いしましたが、食べにくそうでした。事前にどの程度の体験をしてきたのか、確認しておけばよかったと反省しました。然別湖では遊覧船に乗って残雪の残る大雪山を見ました。景色もさることながら、チソモさんが一番喜んでいたのは足湯でした。アフリカでは湯船につかる習慣はなかったことを思い出しました。自宅に戻って夕食のバーベキューの準備をする際には、妻と一緒ににおにぎり作りをしてもらいました。ちなみにバーベキューはアフリカでも大変ポピュラーですが、南アではオランダ語から派生した現地語アフリカンスで『ブライイ』といいます。ブライイをしながらマラウィのことをたくさん聞きました。家族のこと、教育システムや暮らしぶり、自然の様子など、どれも興味深く、“よくカボチャの葉をゆでて食べる。”と聞き、驚きました。ブライイの中で刺身も出してみましたが、結局はしをつけずじまいでした。マラウィではまだすし屋はないそうで、生の魚は厳しかったようでした。

日帰りのホームビジットは大変短く、やっとお互いに打ち解けてきたと思う頃にはお別れになってしまい、残念でした。私はアフリカでとても多くの友人を得ました。特に黒人の方々は見知らぬ東洋人である私をまるで旧知の友のように温かく、ごく自然に受け入れてくれました。『違い』をあんなに素直な心で受け入れられる人々が大好きだったし尊敬もしていました。日本に帰国しても外国の方々を特別扱いせず家族同様に受け入れたいと思っていましたが、チソモさんにその気持ちが伝わったかどうか。受入前に研修員さんの要望がはっきりわかるともって喜んでもらえる計画を立てやすいのかもしれませんが、たった1日でしたが、チソモさんがマラウィに戻っても忘れることのない思い出が作れていたらいいな、と願わずにいられません。アフリカへの恩返しの機会を与えてくださった十勝インターナショナル協会の皆様にもお礼を申し上げたいと思います。





平成24年度総会 4月25日(水)14:00 開催しました

平成24年4月25日(水)午後2時より、森の交流館・十勝の多目的ホールにて開始。多田会長の挨拶の後、来賓のJICA北海道国際センター(帯広)の睦好代表よりご挨拶を頂きました。議事では、平成23年度事業及び決算、平成24年度事業計画及び予算について原案のとおり承認いただきました。また、役員改選では、全員留任を決定しました。



十勝インターナショナル協会

多田 順一 会長

「昨年日本を襲った東日本大震災から、家族や地域社会との「絆」の大切さ、世代の所属を超えた「助け合い」の重要性が指摘されている。」との挨拶がありました。



独立行政法人 国際協力機構
北海道国際センター(帯広)

睦好 絵美子 帯広代表

平成24年4月1日より独立行政法人国際協力機構北海道センター(帯広)代表に就任。総会当日では、ご来賓を代表して挨拶を頂きました。

新役員

(平成24年度4月25日総会決定)

会長 多田 順一

(幕別町国際交流協会会長)

副会長 後藤 裕弘

(十勝日中友好協会会長)

副会長 米沢 則寿

(十勝圏複合事務組合組合長)

監査役 藤本 長章

(帯広商工会議所副会頭)

監査役 高橋 正夫

(本別町長)

<新年度の事務局体制>

4月1日付けの帯広市人事異動に伴い、新年度の事務局長が次のとおりとなりましたので、お知らせします。

なお、森の交流館・十勝は月曜日と祝日の翌日が休館日となっております。

事務局長 下森 法人(帯広市親善交流課長)

<お問い合わせ先>

〒080-2470

帯広市西20条南6丁目1番地2 森の交流館・十勝内

十勝インターナショナル協会事務局

TEL: 0155-34-0122

FAX: 0155-34-0165

You can check our website!!

詳しくは、ウェブで公開中!!

Web: <http://www.octv.ne.jp/~tia/>

